



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日
東

上場会社名 アキレス株式会社 上場取引所
 コード番号 5142 URL <https://www.achilles.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日景 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統轄補佐兼 (氏名) 河野 和晃 (TEL) 03-5338-8238
 経理本部長
 四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	59,277	△6.0	△436	—	28	△93.0	△7,637	—
2023年3月期第3四半期	63,050	12.9	△49	—	409	△71.7	78	△91.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △6,168百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 2,115百万円(81.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△518.07	—
2023年3月期第3四半期	5.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	80,874	38,460	47.6	2,662.90
2023年3月期	86,220	46,206	53.6	3,058.80

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 38,460百万円 2023年3月期 46,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	△5.9	△1,300	—	△700	—	△8,300	—	△565.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	15,362,714株	2023年3月期	15,362,714株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	919,609株	2023年3月期	256,655株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	14,742,859株	2023年3月期3Q	15,475,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調に推移しましたが、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格・エネルギーコストの上昇や世界的なインフレ進行などがあり、欧州を中心に減速傾向となりました。また、中国も個人消費の低迷と不動産市場の悪化により減速が続きまし

た。日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し、個人消費やインバウンド需要の回復の動きが見られたものの、原材料価格・エネルギーコストの上昇や為替レート的大幅な変動など、先行き不透明な状況が継続しました。

このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、価格改定を含め、売上高59,277百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

営業損益は、原材料価格・エネルギーコストの上昇や円安による仕入れコスト上昇の影響等への対応として、生産性の向上や経費削減に努めましたが、436百万円の営業損失(前年同四半期は49百万円の営業損失)となりました。

経常利益は、前年同四半期に比べ380百万円減少し、28百万円(前年同四半期比93.0%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損益は、車輛資材、ウレタン、断熱資材で減損損失を計上したことや、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、7,637百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失(前年同四半期は78百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当社は主に企業向けの中間財と最終消費者向けの消費財を製造、販売しております。消費財がもつ当社のブランド力を中間財の拡販に有効活用していくためにも、今後、消費財への注力は重要との観点から、消費財・中間財に区分して記載しております。

<シューズ事業>

【消費財】

世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS（ブルックス）」は好調に推移し前年売上を上回りましたが、その他の商品群の回復が遅れ全体では前年売上を下回りました。

シューズ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は7,620百万円と前年同四半期に比べ782百万円の減収（前年同四半期比9.3%減）となりました。

セグメント損失は、価格改定の効果を含む利益率の改善や、販売費の削減等により604百万円（前年同四半期は723百万円のセグメント損失）となりました。

<プラスチック事業>

【中間財】

車輛内装用資材は、中国市場は苦戦しましたが、国内および北米市場においては自動車メーカーの生産が回復し、好調に推移しました。なお、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや海外を含む直近の自動車市場の環境の変化を踏まえて前連結会計年度における将来の損益計画の見積りに用いた仮定のうち将来の販売数量の見直しを行った結果、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、減損損失を特別損失に計上しております。

フィルムは、国内外の流通在庫調整によりエレクトロニクス分野、医療・医薬分野が大きく低迷したほか、長引く欧州の景気低迷によりエクステリア用フィルムも伸び悩み、低調に推移しました。

建築資材は、市況の悪化傾向は続いているものの、壁材の新柄投入効果により好調に推移しました。

価格改定を含めた中間財の売上高は28,568百万円と前年同四半期に比べ1,796百万円の減収（前年同四半期比5.9%減）となりました。

【消費財】

防災対策商品は、米国向けポートが伸び悩み、低調に推移しました。

価格改定を含めた消費財の売上高は1,640百万円と前年同四半期に比べ412百万円の減収（前年同四半期比20.1%減）となりました。

プラスチック事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は30,208百万円と前年同四半期に比べ2,208百万円の減収（前年同四半期比6.8%減）となりました。

セグメント利益は、主にフィルムの大幅減収による粗利減の影響等により、前年同四半期に比べ885百万円減少の975百万円（前年同四半期比47.6%減）となりました。

<産業資材事業>

【中間財】

ウレタンは、主力である車輛用や寝具用が回復基調となり前年並みに推移しました。なお、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや寝具市場での競争の激化を踏まえて前連結会計年度における将来の損益計画の見積りに用いた仮定のうち将来の寝具の販売数量の見直しを行った結果、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、減損損失を特別損失に計上しております。

断熱資材は、ボード製品、システム製品が伸張しましたが、全体では前年並みに推移しました。なお、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや持家の住宅着工戸数の減少傾向など厳しい市場環境により、前連結会計年度における将来の損益計画の見積りに用いた仮定のうち将来の戸建て向けの販売数量の見直しを行った結果、収益性が低下し、短期的な回復は難しいとの判断により、減損損失を特別損失に計上しております。

工業資材は、半導体分野向けウエハー搬送用部材が国内、海外向けともに低調に推移しました。

価格改定を含めた中間財の売上高は20,727百万円と前年同四半期に比べ873百万円の減収（前年同四半期比4.0%減）となりました。

【その他】を含む産業資材事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は21,448百万円と前年同四半期に比べ782百万円の減収（前年同四半期比3.5%減）となりました。

セグメント利益は、価格改定の効果を含む利益率の改善等により、前年同四半期に比べ358百万円増加の1,122百万円（前年同四半期比46.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は80,874百万円で前連結会計年度末に比べ5,346百万円減少しました。

資産の部では、流動資産は49,265百万円となり前連結会計年度末に比べ83百万円増加しました。これは主に、売掛金が1,164百万円、現金及び預金が521百万円、受取手形が351百万円減少しましたが、棚卸資産が1,574百万円、電子記録債権が772百万円増加したことによります。固定資産は31,608百万円となり前連結会計年度末に比べ5,430百万円減少しました。これは主に、投資有価証券が460百万円増加しましたが、有形固定資産が4,074百万円、繰延税金資産が1,661百万円減少したことによります。

負債の部では、流動負債は26,030百万円となり前連結会計年度末に比べ1,481百万円減少しました。これは主に、短期借入金が増加しましたが、支払手形及び買掛金が1,250百万円、その

他流動負債が439百万円、未払金が417百万円減少したことによります。固定負債は16,382百万円となり前連結会計年度末に比べ3,880百万円増加しました。これは主に、長期借入金が2,750百万円、繰延税金負債が1,004百万円増加したことによります。

純資産の部は38,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,745百万円減少しました。これは主に、為替換算調整勘定が1,438百万円増加しましたが、利益剰余金が8,242百万円、自己株式の取得により973百万円減少したことによります。以上の結果、自己資本比率は47.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年11月9日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2024年2月9日)公表の「特別損失(減損損失)の計上、繰延税金資産の取り崩し、通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想、配当予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,887	6,366
受取手形	2,909	2,557
電子記録債権	5,884	6,656
売掛金	14,909	13,744
商品及び製品	10,913	11,489
仕掛品	1,915	2,179
原材料及び貯蔵品	3,954	4,689
その他	1,841	1,627
貸倒引当金	△34	△45
流動資産合計	49,181	49,265
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,685	10,086
機械装置及び運搬具（純額）	7,092	5,864
土地	4,166	4,172
建設仮勘定	1,799	561
その他（純額）	1,427	1,412
有形固定資産合計	26,171	22,096
無形固定資産	393	398
投資その他の資産		
投資有価証券	2,599	3,060
退職給付に係る資産	5,299	5,112
繰延税金資産	1,757	96
その他	869	897
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	10,474	9,114
固定資産合計	37,039	31,608
資産合計	86,220	80,874

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,065	12,814
電子記録債務	3,353	3,289
短期借入金	3,600	4,400
未払金	2,266	1,849
未払法人税等	244	134
その他	3,982	3,542
流動負債合計	27,512	26,030
固定負債		
長期借入金	7,500	10,250
繰延税金負債	502	1,507
退職給付に係る負債	4,056	4,167
資産除去債務	369	370
P C B廃棄物処理引当金	38	23
その他	34	63
固定負債合計	12,502	16,382
負債合計	40,014	42,413
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,640	14,640
資本剰余金	4,097	4,097
利益剰余金	23,073	14,831
自己株式	△373	△1,346
株主資本合計	41,439	32,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	281	487
繰延ヘッジ損益	△66	△10
為替換算調整勘定	2,279	3,717
退職給付に係る調整累計額	2,271	2,041
その他の包括利益累計額合計	4,766	6,236
純資産合計	46,206	38,460
負債純資産合計	86,220	80,874

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	63,050	59,277
売上原価	51,296	48,205
売上総利益	11,753	11,071
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,808	4,372
広告宣伝費及び販売促進費	554	565
貸倒引当金繰入額	△26	11
給料手当及び福利費	4,208	4,107
退職給付費用	4	7
旅費交通費及び通信費	309	361
減価償却費	306	425
その他	1,638	1,658
販売費及び一般管理費合計	11,803	11,508
営業損失(△)	△49	△436
営業外収益		
受取利息	19	15
受取配当金	38	37
持分法による投資利益	98	159
為替差益	137	133
不動産賃貸料	68	59
その他	198	174
営業外収益合計	559	580
営業外費用		
支払利息	34	55
支払補償費	18	27
その他	47	32
営業外費用合計	101	115
経常利益	409	28
特別利益		
固定資産売却益	6	486
投資有価証券売却益	4	-
補助金収入	91	-
特別利益合計	101	486
特別損失		
固定資産売却損	0	-
減損損失	-	4,973
固定資産除却損	79	71
特別損失合計	79	5,044
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	431	△4,529
法人税、住民税及び事業税	264	379
法人税等調整額	88	2,729
法人税等合計	352	3,108
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78	△7,637
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	78	△7,637

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78	△7,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	205
繰延ヘッジ損益	△124	55
為替換算調整勘定	2,214	1,323
退職給付に係る調整額	△290	△230
持分法適用会社に対する持分相当額	199	114
その他の包括利益合計	2,036	1,469
四半期包括利益	2,115	△6,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,115	△6,168
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	8,403	32,416	22,230	63,050	—	63,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	68	490	559	△559	—
計	8,403	32,485	22,720	63,609	△559	63,050
セグメント利益又は損失 (△)	△723	1,860	764	1,901	△1,950	△49

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,950百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	シューズ 事業	プラスチック 事業	産業資材 事業	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	7,620	30,208	21,448	59,277	—	59,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	50	635	685	△685	—
計	7,620	30,259	22,083	59,963	△685	59,277
セグメント利益又は損失 (△)	△604	975	1,122	1,492	△1,929	△436

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△1,929百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(一般管理費)であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「プラスチック事業」セグメントにおける車輛資材について、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや海外を含む直近の自動車市場の環境の変化を踏まえて前連結会計年度における将来の損益計画の見積りに用いた仮定のうち将来の販売数量の見直しを行いました。その結果、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては769百万円であります。

「産業資材事業」セグメントにおけるウレタンについて、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや寝具市場での競争の激化を踏まえて前連結会計年度における将来の損益計画の見積りに用いた仮定のうち将来の寝具の販売数量の見直しを行いました。その結果、収益性の低下が見込まれ、短期的な回復は難しいとの判断により、減損損失を特別損失に計上しております。また、断熱資材について、原材料価格・エネルギーコストの高止まりや持家の住宅着工戸数の減少傾向など厳しい市場環境により、前連結会計年度における将来の損益計画の見積りに用いた仮定のうち将来の戸建て向けの販売数量の見直しを行いました。その結果、収益性が低下し、短期的な回復は難しいとの判断により、減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、それぞれ3,430百万円、773百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	シューズ事業	プラスチック事業	産業資材事業	
消費財	8,403	2,052	—	10,455
中間財	—	30,364	21,601	51,966
その他	—	—	628	628
顧客との契約から生じる収益	8,403	32,416	22,230	63,050
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,403	32,416	22,230	63,050

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	シューズ事業	プラスチック事業	産業資材事業	
消費財	7,620	1,640	—	9,260
中間財	—	28,568	20,727	49,296
その他	—	—	720	720
顧客との契約から生じる収益	7,620	30,208	21,448	59,277
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,620	30,208	21,448	59,277